Rotary District 2710

2015-16 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 | vol.10 2016.4

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2015-16年度
国際ロータリー第2710地区 ガバナー
東 良輝
GOVERNOR：Yoshiki Azuma
UBE WEST ROTARY CLUB

「世界の母子保健の現状」

日本人の平均寿命は世界一を誇っていますが、母子保健の充実で乳幼児、新生児の死亡率が大きく低下したことが寿命を延ばした要因の一つといわれています。一方、世界に目を向けますと途上国や紛争当事国では妊産婦、新生児の死亡率が極めて高く寿命も短くなっています。そうした問題を考えるとき、日本における新生児、乳幼児の死亡率を限りなくゼロに近づけるために取り組んできたこれまでの施策が重要になると思います。

国内の乳児死亡率のピークは1899年で、100人の乳幼児に対し19人が亡くなっていましたが、現在では1人以下です。新生児は1899年には100人に約8人が死亡、それが今では0.09%と死亡率の低さは世界トップクラスです。その要因として日本独自の取り組みである「母子健康手帳」があります。この手帳は1948年に交付されました。特徴は妊産婦、新生児、乳幼児に対して一貫して継続的なケアを行う点で、交付により妊産婦、新生児、乳幼児の死亡率が一段と低下しました。そして近年、「母子手帳」がアジア、アフリカをはじめ世界から注目されています。

最近のWHOの研究で、途上国などでの妊産婦の死亡原因の25%はもともと患かっていた糖尿病、HIV、マラリヤ、肥満などの病気に起因し、それらが妊娠により悪化して出産時に出血多量で死亡するケースが多いことが判明しました。また5歳以下の幼児の死亡の40%は生後1カ月以内、新生児の75%は出産後1週間目までで、原因の8割が早産、低体重、感染症、新生児仮死、出産時外傷です。これらは人為的に努力すれば避けることができ、そこで日本の「母子手帳」によるケアが重要になってきます。

ではロータリーとしてこの問題にどのような取り組みをすべきかを真摯に考える必要があると思われますか。まずはロータリーがいままで取り組んできた「水問題」を含めた生活環境の改善が強く望まれるところです。また、ポリオ撲滅に関してはもう目の前です。ロータリーが掲げる「世界の永遠の平和」を達成するためには「母子問題」は避けては通れません。今後の課題として、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

世界へのプレゼントになろう

CONTENTS

［ガバナー月信 2016年4月号］

ガバナーメッセージ …… 1
母子の健康月間に寄せて …… 2
中四国3地区合同オリエンテーション報告… 3
グループ4 IM 報告 …… 4
グループ10・11合同IM 報告 …… 5
グループ8 IM 報告 …… 6
会員増減・出席率 …… 7
新会員紹介／物故者への哀悼 …… 8
文庫通信 …… 8

母子の健康月間に寄せて

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー　田村 泰三

ロータリー財団の6つの重点分野の1つである“母子の健康”にちなんでつけられた月間です。出産という人類の存続にかかわる問題において、母子が健康状態を保つことは極めて重要なことです。日本においても母子健康手帳（母子手帳）が発行されるまでは大きな不安を抱えていた時期が長く続いていました。母子手帳とは妊娠が分かってから、妊娠中の経過出産を経て子供が小学校に上がるまでの健康状態、発育、発達、予防接種などの記録が記入され、母子の健康に大きな貢献をしています。

現在でも発展途上にある国や地域では母子の健康に大きな不安を抱えています。出産という生物の種の保存にもっとも重要な現象は常に危険を伴っています。

社会の安全が確保されなければ、母子の安全は保障されません。日本の母子手帳は1937年に制定された母子健康法に基づいて発行されるようになりました。

乳幼児死亡率は生まれた子供1,000人が5歳までに死亡する人数で確率を示します。WHOの統計では、欧米や日本などの先進国では2人（0.2%）になっていますが、日本でも1950年には1,000人のうち50人が死亡していた状態でした。現在でもアフリカでは100人（10%）が死亡しています。それでも人口が増加しているのは非常に高い出生率が補っているといえます。国別の平均余命の統計でもこの乳幼児死亡率の低下が平均余命を改善しています。

他のロータリー財団の6つの重点分野は、平和と紛争／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、基本的教育と識字率、経済と地域社会の発展ですが、いずれもこれらの状態が不安であれば、母子の健康に影響が現れることは明白です。

母子の健康は国や地域が繁栄するか衰退に向かうかを左右する重要な問題です。母体が健康でなければ健康な子どもは生れませんし、抵抗力の少ない子どもが健康に成長、発達するには十分な保護が必要です。

6つの重点分野において、グローバル補助金が承認された件数は、日本でも世界でも今のところあまり多くありません。その中の1つに、呉南ロータリークラブがフィリピンで行われた事業があります。フィリピン、アンヘルス市民病院での申請時の死亡率を低下させるため、設備の充実と妊産婦検診、新生児検診を目的とされました。クラブが一丸となって多くの難関を克服して承認、実行に結び付けられた貴重な事業です。

また、地区が主導して行ったスケールの大きい母子の健康に貢献している活動があります。1994-95年度の筒井敷三ガバナーの年度に世界社会奉仕を計画され、次年度の山田宏ガバナー年度にインドネシア、バリ・タマンロータリークラブと協力して、婦人検診車を贈呈するプロジェクトにロータリー財団の同額補助金の申請をし、天野肇ガバナー年度に承認を得られました。同額補助金は現在のグローバル補助金に該当する補助金です。検診車の贈呈式は南園義一ガバナー年度に行われ、現在もなお活動が継続されています。

2008-09年度の李東建国際ロータリー会長は、「夢をかたちに」をテーマに乳幼児死亡率の改善に関心を払うように呼びかけました。ポリオ撲滅運動も乳幼児を小児麻痺の感染から守る人類史上に輝く壮大な取り組みであり、ゴールを目前にしている大事業です。

このような母子の健康についてのロータリーの活動に一層の関心を寄せたいと思います。

青少年交換プログラム 中四国3地区（第2710、2690、2670地区）合同オリエンテーション報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 青少年交換委員会 委員長　福田 信二

2016年2月6日（土）～7日（日）、倉敷シーサイドホテルで例年の中四国3地区合同の青少年交換留学生オリエンテーションが第2670地区のお世話で開催されました。

2016-2017年度派遣学生は第2710地区6名、第2690地区4名、第2670地区4名、受入学生は第2710地区3名、第2690地区1名、第2670地区6名、学友（旧ROTEX：派遣されて帰国した学生）4名の参加で行われました。招待した講師は若林洋一先生（第2520地区 宮城県、栗駒RC、元青少年交換委員会委員長）、鬼丸昌也先生（特定非営利法人テラ・ルネッサンス創設者／理事）、根木佳織先生（公益社団法人Civic Force 事務局長／アジアパシフィックアライアンス　執行責任者［COO］）でした。

全員で記念写真を撮影した後、根木先生による旧ユーゴスラビア、アフガニスタン、イラク、新潟中越地震などに赴任して、災害や紛争後の緊急支援活動や復興活動を行った時のスライドをつかって、国際的な活動の実際や、苦労話など、今後留学生が関与するであろう世界を説明してもらい、学生からも活発な質問がでました。

次いで鬼丸先生からスリランカのアリヤラトネ博士が始めたサルボダヤシュラマーダ運動にふれ、「大切なことは未来をつくる力があることを信じること」と教えられ、貧しい、困っている人の生活を向上させるためには、すべての人々を高揚することだと信じるようになり、カンボジアの地雷問題、ウガンダ北部での元・子ども兵の社会復帰支援事業を行っていること、最近では東日本大震災の地域での大槌刺し子事務所の援助などについて、多彩な話術を駆使して訴えかけ、学生に大きな感動を与えました。

夕食後、学生全員によるエンターテインメントショーが行われ、学生が全員自分の特技を披露しました。

翌日、派遣学生は若林先生と根木先生による、留学に対する心得、注意点など、実例をあげながら、細かく指導が行われました。

受入学生は倉敷美観地区散策、大原美術館見学、アイビースクエアーで昼食の後、奈良時代に行基によって創建された由加山蓮台寺を見学しました。午後4時から閉会式の後、解散となりました。

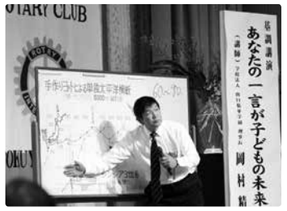
学生たちにはいい勉強と、お互いの交流ができ、ロータリアンも夜ゆっくりと情報交換を行いました。来年度はわれわれ第2710地区がお世話することになっています。

グループ4 IM報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ4ガバナー補佐 神田 忠二郎

グループ4のIMは、青少年奉仕をテーマに、2月6日（土）午後2時より遠石会館で登録者207名、当日参加者151名と多数の参加をいただき開催致しました。

今年度IMのテーマについては、東ガバナーからは特別の指示はなく、グループ4として協議するに相応しいのは何か、いろいろ悩みました。東ガバナーの今年度の基本的目標「ロータリーの基本に戻ろう」からすれば、本来はロータリーの原点である、「職業奉仕と親睦」について議論すべきとは考えましたが、近年職業奉仕については多くの議論が行われ、多少目先を変えたいとの思いもありました。それと、本年度のラビンドランRI会長は「世界へのプレゼントになろう」をRIのテーマとされましたが、今年度RI会長賞への要件の中で違和感を感じたのが新世代の項目でした。新世代の項目はローターアクト及びインターアクトに関する事項のみでした。青少年に関する奉仕活動はこれだけではないだろうと思ったのが青少年奉仕を取り上げた動機です。



第1部は、学校法人山口精華学園理事長岡村精二様から「あなたの一言がこどもの未来を拓く」の演題で講演していただきました。講師の岡村精二様は、昭和52年日本初の手作りヨットによる単独太平洋横断、建設会社勤務の後、学習塾を開設され、長年にわたり青少年を対象にしたジュニア洋上スクールや冒険学校を実施、また、高校中退や不登校などの生徒を対象としたスクールを開校するなど青少年問題に積極的に取り組んでおられます。講演は講師の体験に基づいた話で、「子どもはその一言で支えられもし、その一言で傷つけられる。」「最近の子どもは…と大人は言うが、子どもはすごいですよ。場面があれば頑張れるんです。」最後に、ヨットでの太平洋横断に至る親子の葛藤等話され、大変感動致しました。

第2部は、「青少年奉仕」をテーマとしたパネルディスカッションとしました。パネリストを各ロータリークラブ青少年奉仕関連会員に、カウンセラーを基調講演いただきました岡村精二様にお願いし、コーディネーターをガバナー補佐が引き受けました。

最初にパネリストから各クラブの青少年奉仕に関する活動状況の説明を受け、コーディネーターから質問を行いながらの進行としました。徳山RCからはグループ4で唯一ローターアクトクラブを提唱している立場での、ローターアクトに対する思いが、その他のRCからは、地域での青少年スポーツ活動に対する支援、職場体験受け入れ、小中学校への講師派遣等活動状況が報告されました。カウンセラーから報告に対し「ワクワク、ドキドキする体験が子どもたちの心を育む」との講評をいただきました。次に、ロータリーとしての常設プログラム、ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換について話を進めました。グループ4での青少年奉仕の常設プログラムについては、徳山RCでローターアクトクラブを提唱している以外、あまり熱心に奉仕活動を行っている状況にないこと。また、徳山ローターアクトクラブ自体も会員数の減少に悩んでいることでした。やはり、一定数の人数が無いと、アクト活動を十分行うことができないのであり、クループ4として会員増強に協力することが必要との共通認識ができたのではないかとの結論で時間となりました。

東ガバナーからは、青少年奉仕をテーマとした内容について、お褒めの言葉をいただきましたが、基調講演をいただきました岡村精二様の感動的な講演のおかげと感謝しております。

本会議終了後はIMのもう一つの目的、会員同士の親睦を深めるため、懇親会を開催しました。アトラクションは迫力と不思議を兼ね備えた見応えあるイリュージョンで最後まで時間を忘れ楽しみました。

最後に、IMの会場設営等一切を小野実行委員長はじめ実行委員の皆様にお世話になりました。有り難うございました。

グループ10･11合同IM報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区
グループ10ガバナー補佐 畫田 眞三 グループ11ガバナー補佐 徳永 雅俊

国際ロータリー第2710地区、グループ10・11のインターシティーミーティングを2016年2月13日（土）に、福山ニューキャッスルホテルにて、福山ロータリークラブ、福山赤坂ロータリークラブの主催で行いました。当日は来賓として、福山市市長羽田皓様、RI第2710地区ガバナー東良輝様、元RI理事・財務長RI第2710地区パストガバナー松本卓臣様、福山市立大学 学長 稲垣卓様をはじめ、多くの来賓の方々にご臨席賜わりました。

まず本会議では、グループ10 唐川IM実行委員長をはじめとする福山ロータリークラブ担当で行って頂き、全体テーマを『福山市制施行100周年 備後圏域の「地方創生」におけるロータリアンの使命と役割を考える』とし、パートⅠでは、基調講演として、福山市羽田市長に『備後圏域における「地方創生」の取り組みについて』というテーマに沿って、パワーポイントを交えながら分かりやすく説明頂きました。

パートⅡでは、青少年による意見発表とし、テーマを『備後圏域・地方都市における「地方創生」／未来の創造に向けて』と題し、コーディネーターを福山市立大学 渡邉一成教授に行って頂き、発表者として福山市立大学の現役生2名、卒業生2名、福山ローターアクトクラブ会長 計5名の方々に若者の観点から多岐にわたるご意見を頂き、新たな気付きを頂きました。

私たちは、本年度K.R.ラビンドランRI会長のテーマである『Be a gift to the world』“世界へのプレゼントになろう”を日々のロータリー活動を通じて、備後圏域の「地方創生」におけるロータリアンの使命と役割を考えながら活動するべきであると実感しました。

懇親会は、グループ11 門田IM実行委員長をはじめとする福山赤坂ロータリークラブに担当して頂き、本年度 東ガバナーの信条である『ロータリーの原点で立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう』を、この懇親会に当てはめて考えた時、やはり新会員の方々にスポットを当て、また新会員の方々にロータリークラブに入会して良かったと思って頂ける懇親会を行うべきと考え、昨年のIM以降に入会された方々一人ずつ、スクリーンに顔写真・プロフィールを撮影しご紹介させて頂きました。

また、ご紹介した新会員は、ステージ上で東ガバナーがお一人ずつ握手を交わされ、最後に東ガバナーから新会員に励ましの言葉を送って頂き、新会員の方々にとって、とても思い出に残る懇親会を行い、今後のIMでの試金石となり得る様な懇親会を行うことが出来たと思っ

ております。

昨年9月からIMの実行委員会を開催し、どの様な内容にすればグループ10・11のメンバーの方々に喜んで頂けるIMになるか？を考えながら行って来ましたが、実行委員会を行う度に素晴らしいものが出来上がって行き、本番では福山ロータリークラブ・福山赤坂ロータリークラブ 両クラブのメンバーの想いを形にしたIMを行うことが出来ました。これも当日345名の多くのメンバーの方にご参加頂き、IMを盛り上げ、ご協力頂いた結果だと思っております。本当に、グループ10・11のメンバーの方々に心より感謝申し上げ、IMのご報告とさせて頂きます。

G8 IM 報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 グループ8ガバナー補佐　土肥 慎二郎

2月20日、国際ロータリー第2710地区 第8グループのインターシティミーティングが、グランラセーレ東広島において行われました。あいにくの雨でしたが、東ガバナーをはじめとするご来賓とグループ内の多くのロータリアンが参加し、「あなたのクラブの原点は何処ですか」というテーマで開催いたしました。

はじめに、国際ロータリー第2800地区、鶴岡RCの藤川享胤パストガバナーより「ロータリアンの矜持」という演題での基調講演をしていただきました。「ロータリーとは奉仕の心とその実践力が伴った見事な専門職務者と職業人を育てる、世界に広がる修練の場である」という先生の信念とご自身の矜持を皆さんに示されました。その素晴らしい講演に、私も何か心に清々しいものを覚えたような気がいたしました。

続くパネルディスカッションでは、大之木精二パストガバナーをコーディネーターとして、各クラブより推薦していただいたパネリストと会場の皆さんに「クラブの原点」について話し合っていただきました。各クラブでそのとらえ方は違いましたが、共通するものは、常にロータリーの原理原則を遵守して歩んできたクラブの歴史、あるいはその歴史が培ったクラブ独自の理念、哲学、伝統、こういったものが原点であるということでした。さらには、“不易流行”、原点を大事にするとともに、時代の変遷に沿った新しいものを積み重ねていく、この精神を忘れてはならない。そして、その意味でクラブの原点は、常に新しくて現実的で、未来思考のものでなければならない。このように大之木パストガバナーにまとめていただきました。

東ガバナーのおっしゃった、「まず原点をしっかり見つめ、それから進化し未来に続くのです。そしてロータリーの最終目的は“世界平和”であり、それを達成するために我々ロータリアンは奉仕をするのです。」という言葉の通り、まさに、自分のクラブをじっと見つめ直し未来へ繋げることをあらためて感じることが出来た素晴らしい勉強会になったと思っています。

その後の懇親会では、広島のプロバスケットボールチーム「ドラゴンフライズ」専属チアダンスチーム“FLY GIRLS”の皆さんの生き生きとしたダンスを皮切りに、西条RCの計らいで会員の皆さんとの楽しいひとときを過ごし親睦を深めることが出来ました。

あっという間の半日でしたが、私にとって忘れることの出来ない最高のIMでした。

準備をして下さいました東広島21ロータリークラブ、西条ロータリークラブのみなさん、参加したロータリアンの皆様方、FLY GIRLSの皆さん、そして会場を用意して下さったグランラセーレ東広島様、すべての出会いに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

国際ロータリー第2710地区 2015-16年度　74RCの会員増減・出席率　2016年 2月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%) 当月	出席率(%) 平均	会員数 年度初(7/1)	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
グループ1	長　門	4	91.38	88.14	27	29	5	3	1	2
	下　関	5	78.43	82.38	47	51	2	5	1	4
	下関中央	4	87.5	84.67	29	31	6	2	0	2
	下関東	3	83.05	84.51	59	61	2	2	0	2
	下関北	4	92.47	91.91	42	43	0	2	1	1
	下関西	4	79.17	84.53	35	36	1	1	0	1
	油谷湾	3	80.95	92.05	7	7	0	0	0	0
計			84.71	86.88	246	258	16	15	3	12
グループ2	萩	3	94.32	95.99	55	56	0	4	3	1
	萩　東	4	100	100	20	21	1	2	1	1
	美　祢	3	81.61	81.19	23	24	0	1	0	1
	小野田	4	85.71	84.79	40	35	2	1	6	-5
	宇　部	3	93.83	94	46	46	2	3	3	0
	宇部東	4	60.42	68.55	14	14	2	0	0	0
	宇部西	4	93.5	91.42	52	55	3	4	1	3
計			87.06	87.99	250	251	10	15	14	1
グループ3	防　府	4	99.08	98.97	51	56	0	7	2	5
	防府北	4	84.72	84.93	18	19	2	1	0	1
	防府南	3	100	100	36	36	8	2	2	0
	山　口	4	92.67	93.56	52	53	4	3	2	1
	山口県央	4	97.22	95.64	37	36	1	0	1	-1
	山口南	4	94.3	91.34	41	42	4	2	1	1
計			94.67	94.07	235	242	19	15	8	7
グループ4	光	4	97.67	95.54	41	47	0	7	1	6
	周南西	4	97.28	96.6	47	46	3	2	3	-1
	徳　山	3	99.31	96.91	50	51	1	3	2	1
	徳山セントラル	5	90.34	94.28	29	29	0	0	0	0
	徳山東	4	95.56	95.51	51	51	0	0	0	0
計			96.03	95.77	218	224	4	12	6	6
グループ5	岩　国	4	76.43	76.68	64	66	0	3	1	2
	岩国中央	4	85.63	89.04	39	42	3	4	1	3
	岩国西	3	90.06	86.29	54	58	4	7	3	4
	柳　井	4	100	100	32	33	2	4	3	1
	柳井西	3	97.43	96.81	27	28	2	3	2	1
計			89.91	89.76	216	227	11	21	10	11
グループ6	広　島	4	99.59	99.68	115	129	1	18	4	14
	広島安芸	4	97.54	97.21	37	39	2	2	0	2
	広島安佐	3	94.2	94.1	21	23	1	2	0	2
	広島東	4	99.25	99.19	97	104	6	7	0	7
	広島北	3	100	100	85	88	0	5	2	3
	広島陵北	4	99.49	97.41	52	51	3	2	3	-1
	大　竹	3	91.92	89.27	33	34	0	1	0	1
計			97.43	96.69	440	468	13	37	9	28

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%) 当月	出席率(%) 平均	会員数 年度初(7/1)	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減
グループ7	広島中央	4	100	100	74	75	7	2	1	1
	広島廿日市	5	89.45	88.39	35	36	1	1	0	1
	広島城南	4	99.54	98.99	57	55	2	1	3	-2
	広島南	4	99.76	99.69	88	91	0	6	3	3
	広島東南	5	100	100	90	93	11	4	1	3
	広島西南	4	100	100	62	65	4	3	0	3
	広島西	3	100	100	74	86	0	13	1	12
計			98.39	98.15	480	501	25	30	9	21
グループ8	江田島	3	88.89	88.44	16	18	1	4	2	2
	東広島	4	98.96	98.75	30	32	3	2	0	2
	東広島21	5	81.11	84.71	17	18	3	2	1	1
	呉	3	85.42	89.91	72	70	1	1	3	-2
	呉　東	4	97.58	95.6	31	31	0	2	2	0
	呉　南	4	92.46	91.96	54	57	3	3	0	3
	西　条	3	100	99.94	39	39	2	3	3	0
計			92.06	92.76	259	265	13	17	11	6
グループ9	広島空港	4	80.68	85.94	22	23	2	1	0	1
	因　島	3	89.48	86.4	21	20	0	0	1	-1
	三　原	4	88.11	89.69	63	62	1	0	1	-1
	尾　道	3	82.43	83.01	78	77	2	3	4	-1
	尾道東	4	92.07	91.25	51	51	0	0	0	0
	瀬戸田	4	87.5	87.5	7	7	0	0	0	0
	竹　原	3	88.24	90.47	37	35	4	2	4	-2
計			86.93	87.75	279	275	9	6	10	-4
グループ10	府　中	3	93.33	91.26	30	29	0	0	1	-1
	福　山	5	97.07	95.45	81	81	0	5	5	0
	福山東	4	86.28	89.56	50	51	3	2	1	1
	福山丸之内	5	94	95.51	33	33	1	0	0	0
	鞆の浦	4	82.61	85.58	23	24	0	1	0	1
	福山REC2710	4	100	100	24	23	2	1	2	-1
計			92.21	92.89	241	241	6	9	9	0
グループ11	福山赤坂	5	81.81	80.38	40	46	6	7	1	6
	福山北	4	93.18	90.96	48	46	0	1	3	-2
	福山南	3	82.5	86.78	58	60	2	3	1	2
	福山西	4	97.83	95.3	45	46	3	2	1	1
	松　永	5	88.46	90.6	51	52	2	1	0	1
計			88.76	88.8	242	250	13	14	6	8
グループ12	吉　舎	4	98.53	96.92	18	18	0	0	0	0
	三　次	3	94.87	85.91	41	41	0	1	1	0
	三次中央	5	92.17	91.41	42	42	5	2	2	0
	庄　原	4	86.71	87.8	34	34	4	1	1	0
	東　城	4	88.09	91.99	21	21	1	0	0	0
計			92.07	90.81	156	156	10	4	4	0
第2710地区計			91.52	91.72	3262	3358	149	195	99	96

新会員紹介

河村 ともよ
長門RC
2016年2月9日
保険代理店業

森野 克也
下関RC
2016年2月15日
電力供給

中岡 節二
萩RC
2016年3月10日
電気事業

中野 浩幸
防府RC
2016年2月16日
地方銀行

松浦 礼英
柳井RC
2016年2月16日
電気事業

河野 忠夫
柳井西RC
2016年2月4日
証券業

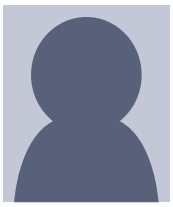
吉田 明浩
広島東RC
2016年2月3日
内科医

奥本 哲之
西条RC
2016年2月4日
金属製品製造

洲崎 浩
福山RC
2016年2月1日
旅行業

上田 雅文
福山RC
2016年2月1日
民間放送

西村 泰典
福山RC
2016年2月22日
全国放送



新会員氏名
所属RC
入会日
職業分類

謹んで追悼の意を表します

府中RC
故 **岡本 裕次郎** 殿
2016年1月3日ご逝去（享年68歳）

■ロータリー歴
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（2回）
米山功労者（マルチプル）（3回）

■職業分類
家具運送

文庫通信 342号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■職業奉仕を学ぶ

会社は誰のものか	深川 純一	2015	16p	（職業奉仕を学ぶ）
企業の社会的責任（CSR）について	安平 和彦	2015	10p	（職業奉仕を学ぶ）
職業奉仕月間に思うロータリーのこころ	中谷 研一	2016	3p	（D.2550月信）
職業奉仕月間について思う事	梅津 敏光	2016	1p	（D.2800月信）
職業奉仕活動の実例	保延 輝文	2016	2p	（D.2820月信）
職業奉仕月間に因んで 新入会に向けて	福田 武男	2015	4p	（D.2510月信）
職業奉仕について	岩田 勝美	2016	1p	（D.2630月信）
『四つのテスト』は職業奉仕の哲学	坂本 俊雄	2015	3p	（ロータリーへの私の想い）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL：（03）3433-6456 FAX：（03）3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

国際ロータリー 第2710地区 事務局
〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL：082-506-0055 FAX：082-263-2323 E-mail：info@ri2710.com URL：http://ri2710.com/